

事業評価シート（平成24年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	小児医療費助成事業		
事業担当	健康・こども部 こども家庭課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'03	③〈健康・安心・福祉力〉その人らしく安心して生活を支援する	
	'02	2 多様な地域課題に的確かつ総合的に対応する地域密着のサービスを充実する	
根拠法令等	平塚市小児の医療費の助成に関する条例、平塚市養育医療に関する規則		
対象・受益者	通院小学校6年まで、入院中学校卒業まで	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
小児にかかる医療費の一部を助成することにより、その健全な育成を支援し、健康増進が図られています。		小児の健全な育成を支援し、健康の増進を図るため、通院（小学校6年まで）、入院（中学校卒業まで）時の医療費を助成します。また、未就学児は所得制限なしで医療費を助成します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	医療証発行者数			単位	人
	説明・算定式	(平成24年度から)				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標			26000	26000	
	実績			24764		
活動指標②	指標名	医療証発行者数の内、拡大分			単位	人
	説明・算定式	医療証発行者数－小学校3年までの発行者数(平成24年度から)				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標			5800	5800	
	実績			5220		
成果指標①	指標名	受診者数			単位	件
	説明・算定式	レセプトの件数(平成24年度から)				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標			437900	400000	
	実績			387773		
成果指標②	指標名	受診件数の内、拡大分			単位	件
	説明・算定式	受診件数－小学校3年までの受診件数(平成24年度から)				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標			88000	81000	
	実績			46873		
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成24年度の主な取組と成果						
診療件数387,773件で医療扶助費726,194,094円を支出したことから、小児の健全な育成を支援することができました。						
平成24年度の検証結果	B：おおむね成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	小児の健全な育成を支援し、市民ニーズの高い事業であることから、必要性は高いと思われます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	医療費を助成することにより小児の健康増進が図られるため、市民満足度を高める上で有効性の高い事業です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	一部負担金の導入は制度の趣旨を踏まえ現行どおりとする等、受益者負担の面から妥当性は高いと思われます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	対象年齢拡大に対応したシステムを運用することにより、効率化を図りました。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 平成24年度から通院年齢を拡大したことに伴い、受給者が増加したことから、より効率的な業務を実施する必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容				医療費助成の実施	医療費助成の実施
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	139,544	143,864
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	615,598	630,012
事業費 (A)		0	0	755,142	773,876
執行率 (%)		—	—	90.77	
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	2.35	2.40
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	18,836	19,076
フルコスト (A+B)		0	0	773,978	792,952

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の取組方針 近隣市町村の状況を研究しながら、効率的な業務運営を図ります。
課長コメント 今後は、助成対象が拡大されたことに伴う効果を検証しながら、安定した事業の運営をしていきます。